

□ 飛騨市立河合小学校 防災 DAY キャンプ 学校×地域 学校行事参加+体験活動+講演会+在宅取組
○期日 令和7年9月10日(水) ○場所 ランチルーム ○主催 学校 ○対象 全保護者



案内

令和7年7月10日
飛騨市立河合小学校
校 長

防災DAYキャンプの開催について(ご案内)

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は本校の学校教育活動へのご理解ご協力ありがとうございます。

さて、先月は大雨により急に河川の水位が上昇し、河合公民館に緊急避難をいたしました。どのような準備や行動をすることが、危険を回避し、命を守ることにつながるのか等を学ぶ防災教育の一環として、見出しの件について下記のとおり開催いたします。ご多用とは存じますが、子どもたちと保護者の皆様との活動を考えておりますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

1 期 日 令和7年9月10日(水) 13:20~15:00

2 会 場 河合小学校 体育館

3 日 程 13:20~15:00 防災DAYキャンプ
活動内容(予定) 前半・防災講話
後半・わが家の避難持ち出し袋を確認しよう
お菓子で防災バッグをつくろう

4 持ち物 各ご家庭の避難持ち出し袋をご持参ください。

5 その他
・活動終了後、児童は保護者と一緒に下校になります。下校スクールバスはありません。
・駐車場は、校舎前、バス車庫横、JA駐車場をご利用ください。

保護者出席確認表

学年	氏名	氏名	氏名
1年	氏名	氏名	氏名
2年	氏名	氏名	氏名
3年	氏名	氏名	氏名
4年	氏名	氏名	氏名
5年	氏名	氏名	氏名
6年	氏名	氏名	氏名

※今年度は全校児童が一律の活動を行いますので、兄弟姉妹がいらっしゃる場合も保護者は1名の参加で活動ができます。

※この確認表は8月28日(水)までに、担任に提出してください。よろしくお願いたします。

○ 地域学校協働活動による家庭教育学級の取組!

県が示している家庭教育学級の型には、「学校行事参加型」「体験活動参加型」「講演会型」「子育てサロン型」「在宅取組型」の5つがあります。今回の取組は組み合わせ型として内容に厚みを持たせています。何よりの特徴は、地域との協働活動によって学校の教育活動である「防災 DAY キャンプ」を開催しているところです。

以前、教頭先生の「TV番組で視聴した『お菓子で防災バッグをつくろう』を本校でもやってみたい!」という願いが、地域の方々へ協働活動の輪を広げていきました。

学校の教育活動の中に、地域の「ひと・もの・こと」を活かすことはとても大切です。地域みんなで次代の創り手である子どもたちを育む気運が高まるとともに、地域コミュニティが活性します。



<日程 13:20~15:00>

- ・前半: 防災講話(飛騨市危機管理課 職員)
- ・後半: わが家の避難持ち出し袋を確認しよう(市防災士会)
お菓子で防災バッグをつくろう(市防災士会)



<防災講話>



<お菓子で防災バッグをつくろう>



<お菓子を選ぶ親子>

○ 台風23号による災害体験

今回、講話を担当された市危機管理課の方は、河合小学校出身です。台風23号(H16.10.20)の災害時に、市職員として母校に駆けつけた実体験から、当時の凄まじい様子や命の大切さ、そして日頃から家族ぐるみで防災意識を高めておくことの重要性を語られました。また、県の『防災ガイドブック』を活用し、ハザードマップサイトや災害・避難カードの作成についてなど、帰宅後も家族ぐるみで学んでほしい内容についてお話しされました。

○ お菓子でつくる防災バッグ!?

避難所におけるお菓子の存在は、避難所の窮屈さやストレスを和らげ前向きな気持ちにしてくれます。予算は児童一人600円。子どもたちは、準備されたお菓子のコーナーに集まり、どれにしようかと迷いに迷いながら防災バッグをつくり始めます。市危機管理課の方が「災害時に向け、お菓子を選ぶ活動を通して、子どもたちの防災への目を育てたい。」と話されました。交流会では、ある児童が「バッグを肩にかける袋状の部分に飴(ガム)を並べて入れ、みんなに分けてあげられるようにしました!」(上記の写真)と、工夫点を紹介してくれました! おもしろい!!

○ 学校×地域=教育力 UP!

学校の防災教育に対する願いを、地域関係者が共有し協働して実現した「防災 DAY キャンプ(家庭教育学級)」は、とても中身の濃いおもしろく夢のある取組となりました。



PTA会員の皆様

令和7年7月吉日

江名子小学校PTA
学級・子育て委員会
校長 校長

ええなこの子、江名子の子
『家族で作ろう クッキング』についてのおお願い

盛夏の候、PTA会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
日頃はPTA活動にたいご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。
今回は『食』の取り組みとして、夏休み中に『家族で作ろう クッキング』を計画しました。

期日 7月19日(土)から8月24日(日)

この期間にお子様と一緒に『食』に関する活動をお願いします。
内容は、1年生から6年生まで年齢や経験、興味・関心が異なるので、下の例を参考に親子で取り組んでいただきたいと思います。取り組むを通して、お子様との楽しい時間を過ごす機会となることを願っています。
なお、取り組んだ内容を別紙に記入していただき、8月25日(月)に担任の先生にご提出願います。(ご家族から一言をお願いします。)

ご多用の事と存じますが、ご協力をお願いいたします。

「食」の取り組みの一例

- ・野菜を洗う・切る (料理に使う野菜を切る)
- ・料理を作る (家族と一緒に料理を作る、料理の一部を手伝う)
- ・パズルキューの平皿を洗う (家族と一緒に洗う)
- ・弁当を作る

※兄弟・姉妹がいる家庭は、一つの料理を一緒に作っていただいても構いません。
(取り組む内容は、それぞれで記入をお願いします。)

※今年度は上りでの紹介という形ではなく、クラス毎にファイルに入れて、クラス別に回覧していく形にしたいと思います。

※ファイルに入れる為、写真等顔面より出る分は折り上げますので、ご了承ください。

※文章・写真等の掲載の了承を頂いている方のファイルに入れます。

江名子小 PTA の誓い

子どもを愛し健やかに育て、夢と誇りを持たせるために

- 1つ、子どもをしっかりと家庭でしつけましょう。
- 1つ、子どもを見守りながら自主性を正しく育てましょう。
- 1つ、子どもにより環境を与え、温かい心で導きましょう。

教頭先生が、「本校にはすてきな PTA の誓いがあるんです。役員会の冒頭には必ずみんなで朗唱します。このPTAの誓いをもとに、学校・家庭・地域が力を合わせ、江名子の子どもたちを育てようとしている風土の存在を強く感じています。」と、話してくださいました。

また、「PTA 活動の内容はもちろん改善は進めていくけれども、子どもたちにとって大切な取組はしっかりと残します。そのための労は惜しまない保護者皆さんの姿勢がすばらしいです。」と、加えられました。

江名子小学校では、家庭教育学級(在宅取組型)のテーマを「衣・食・住」と決め、長年に渡り取り組んでいます。夏休みには、テーマの一つである「食」について取り組みました。

家族で作ろう クッキング

筑前煮

作った料理の結果 筑前煮

料理を作る過程

おうちの男よりの

おうちの女よりの

料理をつくった感想

作るのが大変だったけど、美味しかった。正月に祖母が作るのですごくいいと思いました。とても量が多くて難しかったです。

お家の方より

どんな料理を作りたいかを考えたとき、お正月の筑前煮をリクエストしたので「渋いな。」と思いましたが、食感が多様で好きな食材も多く、納得でした。調理後、祖母への感謝を話しており、よい体験になりました。

家族で作ろう クッキング

とんかつ定食

作った料理の結果 とんかつ定食

料理を作る過程

おうちの男よりの

おうちの女よりの

料理をつくった感想

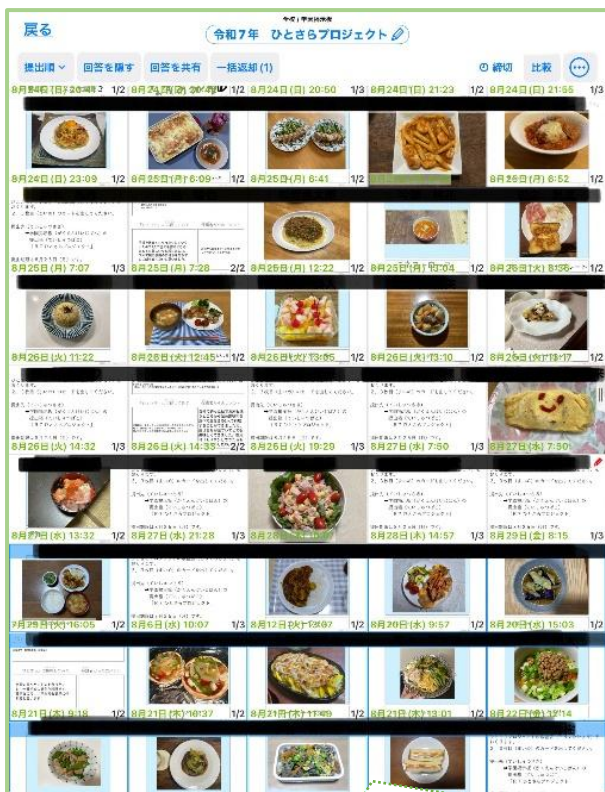
最初は、まあまあできるでしょって思っていたけど、意外と難しく1時間以上もかかってしまいました。これを提供できる定食屋さんは、すごいなと思いました。

お家の方より

6年生の集大成として「定食をつくりたい!」と言ったときは、びっくりしたけど、ちゃんとそれっぽいものが出来上がったね。○は、揚げ物が好きなので他の揚げ物にも挑戦してみてください。美味しかったよ!

実践カードには、文字や写真を上手く使い丁寧にまとめられています。まとめあげる力も見事です。江名子小の皆さんがPTAの誓いをもとに、長年にわたる「衣・食・住」の取組を大切にされていることが伝わってきます。今年度からクラス毎にまとめたファイルをクラス別に回覧されるそうです。実践を共有することによって、クラスの楽しい輪が広がります!

□ 白川村立白川郷学園 ひとさらプロジェクト 在宅取組型
○期間 夏休み ○主催 PTA 執行部+広報・家庭教育委員会 ○対象 全保護者



タブレットで見られる掲示板の画面
(提出率 95% 全 134 品の「ひとさら」)

○ 楽しく無理なく続けられる取組を大切に

白川村では「ふれあい」「語りあい」「学びあい」「家庭で実践する」の4点を家庭教育学級の活動重点としており、PTAが中心となり年間を通して取り組んでいます。

今年度で3回目となる『ひとさらプロジェクト』は、夏休み中に児童・生徒そして教職員が自宅で「ひとさら」を作り、作った料理の写真と一緒に親子のコメントを提出していただく取組です。

○ 取組内容の見直し、そしてICTの活用

現在の「ひとさら」の取組の前には、弁当を作る企画がありましたが、朝の忙しい時間帯の調理や記録に加え振り返りを行うことは大変だという意見も出され、現在の形になりました。

企画の依頼、提出、集計は児童・生徒及び教員全員が使用できる共通のアプリ(iPad ロイロノート)による掲示板を用いて行われます。ICT を活用することで提出状況なども確認することができます。



PTA 広報・家庭委員会による
掲示作業
(校内に掲示：9/2～11)

お好みの「ひとさら」を部門
ごとに選び、投票！



R7 ひとさらプロジェクト
ワンタップ！



○ 学園と保育園の連携

白川保育園父母の会では、家庭で子どもと触れ合う時間を大切にする取組として「親子でご飯作り」の企画を同時期に行いました。学園の兄弟姉妹と一緒に取り組む家庭もありました。発達段階に合わせながら、同じ時期に同じ内容の家庭教育学級(在宅取組型)に取り組むよさが伺えました。

○ 一人ひとりにあった「ひとりだち」を

この取組では、実践カードに出来上がった「ひとさら」の写真掲載に加え、①自分が取り組んだこと(買い物、調理、盛り付けなど) ②感想 ③家族からのコメント を記載してします。

保護者はわが子の初めて包丁を使う、調理などでコンロや圧力鍋を使う、調理工程を全て自分で行う、材料を混ぜる、野菜の皮をむくなど、自分でできることにチャレンジする様子を見ることができます。また、食や栄養バランス、彩りや美味しさだけでなく、家族とのコミュニケーションの向上や食材を購入する、準備するといった家計への関心をもつきっかけにもなることでしょ！